

自衛官募集相談員が市街地広報で協力



協力して下さった募集相談員



募集広報する募集相談員会長

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 日比野准陸尉）は、6月16日（木）、横浜市旭区にある相鉄線二俣川駅前において、市街地広報活動を実施した。

本活動は、横浜市内でも利用者の多い二俣川駅前で自衛隊をPRするため、募集相談員会会長をはじめ5名の募集相談員の協力を得て、駅を利用する多くの方にパンフレット等を配布した。受け取った方からは、「大変ですが、頑張ってください」「ご苦労様です！」と言った労いの言葉もいただける場面もあった。

横浜中央募集案内所は、「今後も、関係協力団体等との連携による積極的な募集広報活動により自衛隊入隊に繋がる多くの志願者獲得に邁進していくと共に、担当地域で自衛隊をPRしていきたい」としている。

即応予備自衛官雇用企業主等訓練研修

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田辰雄1等海佐）は、6月19日（日）、武山駐屯地で第31普通科連隊本部管理中隊が実施した即応予備自衛官訓練に企業主等4社10名を招へいし、訓練研修を実施した。

参加者は、神奈川地本による訓練概要等の説明を受けた後、施設作業小隊の訓練（地雷原の構成）を見学し、即自隊員が遅く訓練している姿に目を見張っていた。その後、海上自衛隊横須賀教育隊の史料館において、旧海軍の戦艦の模型や当時の貴重な資料等を興味深げに見学した後、当日参加した各企業等に勤務している即自隊員とともに部隊喫食を体験し、訓練の苦労等に花を咲かせていた。

神奈川地本では、「今後も多くの即自雇用企業主等に対して研修を案内し、防衛基盤の拡充及び即自制度への一層の理解と協力を得られるよう働きかけに努めていく」としている。



施設作業小隊の地雷原構成訓練を見学する企業主等